

現職最年少 荒川区議会議員 「体は細いが、芯は太い。」

清水ひろし

民主党・市民の会

からの手紙



平成 21 年 秋号

幹事長として、決算委員会にて総括質疑。 各部局が連携しての施策実施を求める！



決算委員会にて総括質疑に立つ

7月の都議会議員選挙、荒川区では滝口学候補が当選し、全体でも民主党が都議会第一党となりました。続く8月の総選挙、東京14区において木村剛司候補が当選を果たし、民主党が過半数を獲得して政権交代が実現しました。

これからが民主党の真価が問われるときです。国政・都政としっかりと連携を図り、「区民が納得・満足の実感出来る荒川区政」に向けて取組んで参ります。

荒川区議会は10/14に第3回定例議会が閉会し、昨年度の決算、今年度補正予算などの審議がなされました。

決算特別委員会の初日には会派幹事長として総括質疑に立ち、その模様はケーブルテレビでも放送されました。

民主党区議初の条例提案説明～選管報酬の改正案～



条例案を有志議員が提案
選管委員の日額報酬制度
荒川区議会

第2回定例議会において民主党・市民の会は、4名いる選管委員の報酬を月額から日額に改める条例改正案を提出いたしました。

2日目の本会議では、民主党荒川区議会議員として初めて条例案の提案説明を行いました。

条例案は反対多数により否決をされましたが、今後も見直しをすべきものについては、色々な形で提案をして参ります。

←左は都政新報（6/12号）の見出しと、本会議での提案説明



温暖化対策に取組む姿勢を指摘！

質問 ヒートアイランド対策に、平成20年度は前年度比約4倍の予算を使っている。遮熱舗装、芝生化、緑のカーテンによる効果はどれぐらいか？

答弁 遮熱舗装では、路面を約10~13°C下げる効果がある。芝生化による効果は、一律に申し上げるような状況ではない。

意見 温暖化対策による温度変化、効果について、数値化出来るものはするべきである。

その検証をもとに、環境部が中心となつて土木部、教育委員会など関連する部局と一緒に、トータルパッケージとして戦略的に対策を講じるべきである。

*ヒートアイランド現象：アスファルトや高層ビルなどによって、都市部の気温が高くなる状況。

情報管理・引継ぎの徹底を指摘！ 南千住保育園建設について

質問 南千住保育園建設にあたり、建設予定地の杭を撤去するために、約4000万円の建設費追加の補正予算が計上された。土地購入の際に杭の存在は分らなかったのか？

答弁 土地購入時の契約書等には、そういった記載はないが、購入時に区は把握していたと思われる。正確な情報を明確にし、情報管理の面からも、きちんと記載をするべきであった。

質問 同敷地に建てられている特養は、当初から建設費に杭の撤去費用は計上されている。何故、今回の保育園建設の際に盛り込まれなかつたのか？

答弁 杭の存在は認識していたが、その引き継ぎが不十分であった。

意見 土地購入にあたっては、そこがどういう土地であったのか等の情報は、きちんと管理するべきである。そのうえで、役所内では各担当者が入れ替わるので、後任の担当者にきちんと引き継ぎをしていくことが、組織として必要なことである。

駅などへの期日前投票所の設置について



質問 今年は都議選、総選挙が実施されたが、期日前投票者数が相当増えている。駅に投票所を設置している他の自治体もあるが、駅などの利用者の多い施設に投票所を設けてはどうか？

答弁 荒川区では現在は7カ所の期日前投票所を設けている。駅などについては、先進事例として、今後の検討課題として参りたい。

民主党・市民の会 清水ひろし
〒116-0013 荒川区西日暮里2-28-8

TEL/FAX 03-3801-6325
E-mail shimizu-hiroshi@nifty.com

清水ひろし（34歳 S50(1975)年5/7日生 卯年 A型 おうし座）現職最年少荒川区議
寛永寺幼卒/根岸小卒/早中・早高卒/早大卒。民主党本部元職員。現在は「民主党・市民の会」幹事長、総務企画委員会委員、拠点開発調査特別委員会委員、議会運営委員会委員として活動中。